

湧別の子どもを伸ばす



家庭学習の手引き

～自ら学び考え、進んで伝え合う子どもを育てるために～

1年生用

前期課程の学習は、将来児童が社会人として自立するための基礎となる大切なものです。

学校で児童の学力向上に取り組んで参りますが、同時にご家庭でもしっかりとした学習習慣を身に付けられるよう、連携とご指導を頂くことにより、学習内容がより確かに習得され、活用力が伸びるものと考えています。

この度、本校児童の学力や学習の実態を踏まえ、全教職員で話し合い、「家庭学習の手引き」を作成致しました。

ぜひお子様と一緒にご覧頂き、家庭学習の手助けとしてご活用頂きますようお願い申し上げます。

2026年 4月

湧別町立ゆうべつ学園

校長 豊原 隆之

湧別町立ゆうべつ学園(前期課程)

～はじめに～

家での勉強（家庭学習）は、とても大切です。それは、学校で勉強したことをしっかりと身につけるために、何回もくりかえし練習することが必要だからです。時間をきちんと決めて、毎日、じっくりと家でのべんきょう（家庭学習）に取り組みましょう。

■ 学習のきまり

- 決まった時こくになったら机に向かいましょう。
- つくえの上には学習用具だけ置きましょう。
- 字はていねいに正しく書きましょう。
- 「ながら勉強」をしないようにしましょう。
- 今、学習しているところの漢字と計算は、少しずつでも毎日復習するようにしましょう。
- わかっていることばかりするのではなく、苦手なところにもどどんちょうせんするようにしましょう。
- ドリルや問題集は、必ず答え合わせをして、まちがえたところをやり直し、くりかえし練習しましょう。
- わからなかったところは、おうちの人や先生に聞くなどして、かならず確かめましょう。
- おわったら、おうちの人に見てもらおうようにしましょう。

■ 学習の時間

- 曜日ごとに学習を始める時こくをきめましょう。
 - ※できるだけ夕食前にするようにしましょう。
 - ※見たいテレビや習い事のこととも考えて決めましょう。
- 1・2年生は、宿題が中心となり、学年が上がるにつれて、自主学習(自学)にちょうせんしていきましょう。
- 1日どのくらい学習するか、次のページの表を参考にして決めましょう。

☆まず、「学年×10分+10分」
から始めましょう！！

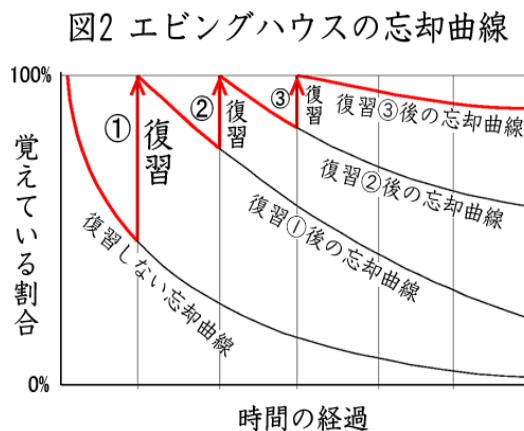
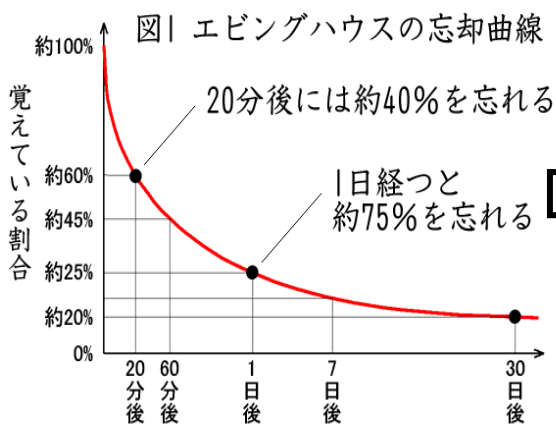
※『+10分』は、家で読書をする時の目安です。

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6
目標時間	20分以上	30分以上	40分以上	50分以上	60分以上	70分以上

わたしの学習時間は

_____ 分以上
_____ 時 _____ 分から始めます

○保護者のみなさんへ



エビングハウスの研究成果「忘却曲線」という図から、驚くべきことが分かります。それは、授業で100%学んだことも、20分経過すると約40%忘れてしまうということです。さらに1日経つと約75%を忘れてしまうことが明らかとなっています。つまり、家庭学習を行わないと、学力がどんどん低下していくということです。

しかし、家庭学習で復習を何度も繰り返すと、この忘却曲線が図2のように変化します。例え忘れてしまったとしても、100%に戻りやすくなっていきます。学力定着のために、学校でも宿題直しを行ったり、学んだ力を生かす場を設定したりしていきます。保護者の皆様にもお家で子供たちの様子を見て、家庭学習をするよう声をかけて取り組むようにしていただけたら嬉しいです。

かていがくしゅう
のつぼ!

学習時間のめやす

20分以上

- ①まい日、しゅくだいを ふくめて 20分よりおおく べんきょう しましょう。
- ②じかんを きめて しゅうちゅうして べんきょうする。
- ③テレビをみながら べんきょうは しない。
- ④だれがみても わかるように ていねいなじで ただしくかく。
- ⑤がくしゅうがおわったら、つぎの日のじかんわりをしらべ、もちもの じゅんびをする。

〈がくしゅうのながれ〉

1

じゅぎょうをしっかりとけよう

～まいにち、じぶんのかんがえをつたえたい、ともだちの
かんがえをしっかりときたいしよう～

2

しゅくだいをしよう

～わからないところは、おうちのひとやせんせいにおし
えてもらいましょう～

3

じしゅがくしゅうにちょうせんしよう

～はやくおわったひとは、みぎのようながくしゅうをして
みましよう～

4

まちがえたもんだいにさいちょうせんしよう

～まえの日にまちがえたもんだいや、しゅくだいでまちがえ
たもんだいを、もう一どかんがえてみよう～

【こくご】

○きょうかしよをよむ

- ・いまがくしゅうしているところをよむ。
- ・これからがくしゅうするところをよむ。
- ・わからないかんじにふりがなをつける。

○かんじのれんしゅうをする

- ・ノートにおくりがなをつけてれんしゅうする。
- ・いろいろなじゅくごにしてれんしゅうする。
- ・ならったかんじをつかってぶんをつくる。
- ・テストなどでまちがえたかんじをれんしゅうする。

○いみしらべをする

- ・きょうかしよをよんでわからないことばのいみをしらべ、ノートにかく。
- ・そのことばをつかって、ぶんをつくってみる。

○ししやをする

- ・きょうかしよのぶんをノートにかきうつす。
- ・「、」や「。」やだんらく・かぎかっこに きをけてかきます。

○にっきをかく

- ・日づけ（○月△日）をかきます。
- ・できごとやきもちをかきます。
- ・ならったかんじをつかきましょう。

○読書をする

- ・いろいろな本を読みます。

【さんすう】

○きょうかしよのもんだいをする

- ・がっこうでべんきょうしたところを もういちど ノートにやっ
てみます。
- ・まちがえたときは、もう一どします。

○けいさんをする

- ・ドリルやプリントをつかってけいさんれんしゅうをします。

家族のあたたかい助言
や励ましの言葉でやる
気がアツクします!!



湧別の子どもを伸ばす

家庭学習の手引き



～自ら学び考え、進んで伝え合う子どもを育てるために～

2年生用

前期課程の学習は、将来児童が社会人として自立するための基礎となる大切なものです。

学校で児童の学力向上に取り組んで参りますが、同時にご家庭でもしっかりと学習習慣を身に付けられるよう、連携とご指導を頂くことにより、学習内容がより確かに習得され、活用力が伸びるものと考えています。

この度、本校児童の学力や学習の実態を踏まえ、全教職員で話し合い、「家庭学習の手引き」を作成致しました。

ぜひお子様と一緒にご覧頂き、家庭学習の手助けとしてご活用頂きますようお願い申し上げます。

2026年 4月

湧別町立ゆうべつ学園

校長 豊原 隆之

湧別町立ゆうべつ学園(前期課程)

～はじめに～

家での勉強（家庭学習）は、とても大切です。それは、学校で勉強したことをしっかりと身につけるために、何回もくりかえし練習することが必要だからです。時間をきちんと決めて、毎日、じっくりと家でのべんきょう（家庭学習）に取り組みましょう。

■ 学習のきまり

- 決まった時こくになったら机に向かいましょう。
- つくえの上には学習用具だけ置きましょう。
- 字はていねいに正しく書きましょう。
- 「ながら勉強」をしないようにしましょう。
- 今、学習しているところの漢字と計算は、少しずつでも毎日復習するようにしましょう。
- わかっていることばかりするのではなく、苦手なところにもどンドンちょうせんするようにしましょう。
- ドリルや問題集は、必ず答え合わせをして、まちがえたところをやり直し、くりかえし練習しましょう。
- わからなかったところは、おうちの人や先生に聞くなどして、かならず確かめましょう。
- おわったら、おうちの人に見てもらおうようにしましょう。

■ 学習の時間

- 曜日ごとに学習を始める時こくをきめましょう。
 - ※できるだけ夕食前にするようにしましょう。
 - ※見たいテレビや習い事のこととも考えて決めましょう。
- 1・2年生は、宿題が中心となり、学年が上がるにつれて、自主学習（自学）にちょうせんしていきましょう。
- 1日どのくらい学習するか、次のページの表を参考にして決めましょう。

☆まず、「学年×10分+10分」
から始めましょう！！

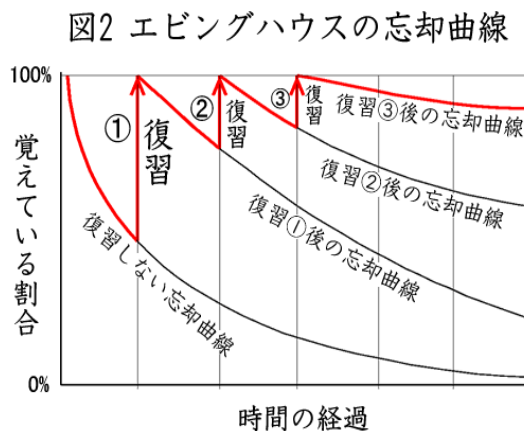
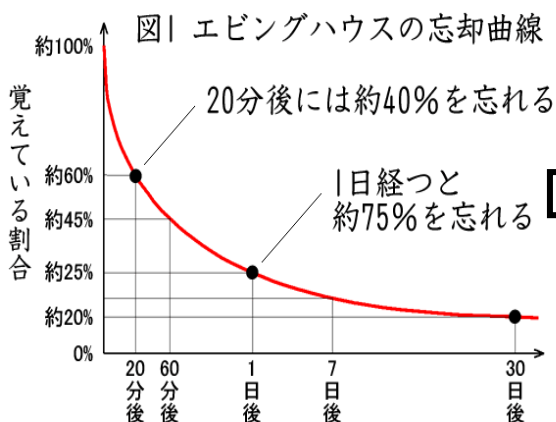
※『+10分』は、家で読書をする時の目安です。

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6
目標時間	20分以上	30分以上	40分以上	50分以上	60分以上	70分以上

わたしの学習時間は

_____ 分以上
_____ 時 _____ 分から始めます

○保護者のみなさんへ



エビングハウスの研究成果「忘却曲線」という図から、驚くべきことが分かります。それは、授業で100%学んだことも、20分経過すると約40%忘れてしまうということです。さらに1日経つと約75%を忘れてしまうことが明らかとなっています。つまり、家庭学習を行わないと、学力がどんどん低下していくということです。

しかし、家庭学習で復習を何度も繰り返すと、この忘却曲線が図2のように変化します。例え忘れてしまったとしても、100%に戻りやすくなっていきます。学力定着のために、学校でも宿題直しを行ったり、学んだ力を生かす場を設定したりしていきます。保護者の皆様にもお家で子供たちの様子を見て、家庭学習をするよう声をかけて取り組むようにしていただけたら嬉しいです。

家庭学習のつぼ！

学習時間のめやす

30分以上

- ①まい日、しゅくだいを ふくめて 30分より多く べんきょうしましょう。
- ②じかんを きめて しゅうちゅうして べんきょうする。
- ③テレビを見ながら べんきょうは しない。
- ④だれが見ても わかるように ていねいな字で 正しく書く。
- ⑤学習がおわったら、次の日の時間わりを調べ、もち物のじゅんぴをする。

〈学習の流れ〉

1

じゅぎょうをしっかりとけよう

～まいにち、じぶんのかんがえをつたえたい、ともだちのかんがえをしっかりときたいしよう～

2

しゅくだいをしよう

～わからないところは、おうちのひとやせんせいにおしえてもらいましょう～

3

じしゅがくしゅうにちょうせんしよう

～はやくおわったひとは、みぎのようながくしゅうをしてみましよう～

4

まちがえたもんだいにさいちようせんしよう

～まえの日にまちがえたもんだいや、しゅくだいでまちがえたもんだいを、もう一どかんがえてみよう～

【国語】

○きょうかしよを読む

- ・今学習しているところを読む。
- ・これから学習するところを読む。
- ・わからないかん字にふりがなをつける。

○かん字の練習をする

- ・ノートにおくりがなをつけてれんしゅうする。
- ・いろいろなじゅくごにしてれんしゅうする。
- ・ならったかん字を使って文を作る。
- ・テストなどでまちがえたかん字をれんしゅうする。
- ・部首や画数をしらべてみる。

○いみしらべをする

- ・きょうかしよを読んでわからないことばのいみをきいて、ノートに書く。
- ・そのことばを使って、文を作ってみる。

○ししやをする

- ・きょうかしよの文をノートに書きうつす。
- ・「、」や「。」やだんらく・かぎかっこに気をつけて書きます。

○日記を書く

- ・日づけ（〇月△日）を書きます。
- ・できごとや気もちを書きます。
- ・ならったかん字を使いましょう。

○読書をする

- ・いろいろな本を読みます。

【さんすう】

○きょうかしよのもんだいをする

- ・学校でべんきょうしたところをもう一どノートにやってみます。
- ・まちがえたときは、もう一ど します。

○計算をする

- ・ドリルやプリントをつかって計算れんしゅうをします。

○もんだいをつくる

- ・自分でもんだいを作って、といてみます。

家族のあたたかい助言や励ましの言葉でやる気がアツクします！！



湧別の子どもを伸ばす

家庭学習の手引き



～自ら学び考え、進んで伝え合う子どもを育てるために～

3年生用

前期課程の学習は、将来児童が社会人として自立するための基礎となる大切なものです。

学校で児童の学力向上に取り組んで参りますが、同時にご家庭でもしっかりとした学習習慣を身に付けられるよう、連携とご指導を頂くことにより、学習内容がより確かに習得され、活用力が伸びるものと考えています。

この度、本校児童の学力や学習の実態を踏まえ、全教職員で話し合い、「家庭学習の手引き」を作成致しました。

ぜひお子様と一緒にご覧頂き、家庭学習の手助けとしてご活用頂きますようお願い申し上げます。

2026年 4月

湧別町立ゆうべつ学園

校長 豊原 隆之

湧別町立ゆうべつ学園(前期課程)

～はじめに～

家での勉強（家庭学習）は、とても大切です。それは、学校で勉強したことをしっかりと身につけるために、何回もくりかえし練習することが必要だからです。時間をきちんと決めて、毎日、じっくりと家でのべんきょう（家庭学習）に取り組みましょう。

■ 学習のきまり

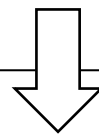
- 決まった時こくになったら机に向かいましょう。
- つくえの上には学習用具だけ置きましょう。
- 字はていねいに正しく書きましょう。
- 「ながら勉強」をしないようにしましょう。
- 今、学習しているところの漢字と計算は、少しずつでも毎日復習するようにしましょう。
- わかっていることばかりするのではなく、苦手なところにもどどんちょうせんするようにしましょう。
- ドリルや問題集は、必ず答え合わせをして、まちがえたところをやり直し、くりかえし練習しましょう。
- わからなかったところは、おうちの人や先生に聞くなどして、かならず確かめましょう。
- おわったら、おうちの人に見てもらおうようにしましょう。

■ 学習の時間

- 曜日ごとに学習を始める時こくをきめましょう。
 - ※できるだけ夕食前にするようにしましょう。
 - ※見たいテレビや習い事のこととも考えて決めましょう。
- 1・2年生は、宿題が中心となり、学年が上がるにつれて、自主学習(自学)にちょうせんしていきましょう。
- 1日どのくらい学習するか、次のページの表を参考にして決めましょう。

☆まず、「学年×10分+10分」
から始めましょう！！

※『+10分』は、家で読書をする時の目安です。

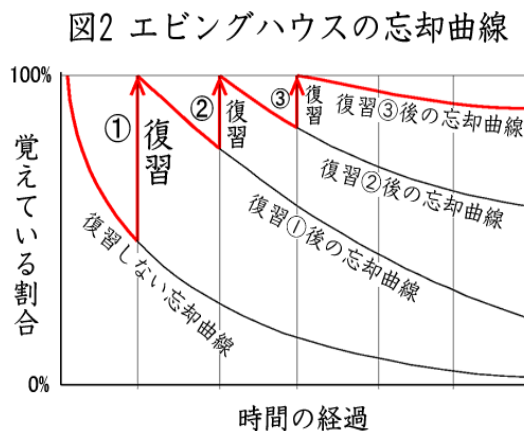
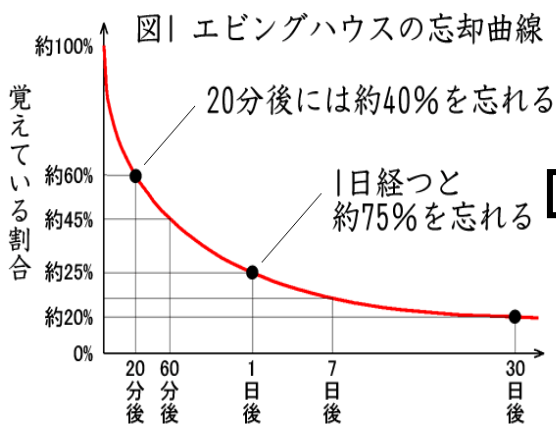


学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6
目標時間	20分以上	30分以上	40分以上	50分以上	60分以上	70分以上

わたしの学習時間は

_____ 分以上
_____ 時 _____ 分から始めます

○保護者のみなさんへ



エビングハウスの研究成果「忘却曲線」という図から、驚くべきことが分かります。それは、授業で100%学んだことも、20分経過すると約40%忘れてしまうということです。さらに1日経つと約75%を忘れてしまうことが明らかとなっています。つまり、家庭学習を行わないと、学力がどんどん低下していくということです。

しかし、家庭学習で復習を何度も繰り返すと、この忘却曲線が図2のように変化します。例え忘れてしまったとしても、100%に戻りやすくなっていきます。学力定着のために、学校でも宿題直しを行ったり、学んだ力を生かす場を設定したりしていきます。保護者の皆様にもお家で子供たちの様子を見て、家庭学習をするよう声をかけて取り組むようにしていただけたら嬉しいです。

家庭学習のつぼ！

学習時間のめやす

40分以上

- ①毎日、しゅくだいをふくめて40分いじょうおうちで学習しましょう。
- ②時間を決めて集中して勉強する。
- ③テレビを見ながら勉強はしない。
- ④だれが見ても読める字で書く。
- ⑤ドリルなどはおうちでまるつけをし、まちがいをなおす。
- ⑥学習がおわったら、次の日の時間わりを調べ、もち物のじゅんびをする。

〈学習の流れ〉

1

授業をしっかり受けよう

～毎日、自分の考えを伝えたい、友達の考えをしっかり聴きたいしよう～

2

宿題をしよう

～分からないところは、お家の人や先生に教えてもらいましょう～

3

自主学習に挑戦しよう

～早く終わった人は、右のような学習を試みよう～

4

間違えた問題に再挑戦しよう

～前の日に間違えた問題や、宿題で間違えた問題を、もう一度考えてみよう～

【国語】

○きょうかしよを読む

- ・今学習しているところを読む。
- ・これから学習するところを読む。
- ・わからない漢字にふりがなをつける。

○漢字の練習をする

- ・ノートにおくりがなをつけて練習する。
- ・いろいろなじゅくごにして練習する。
- ・ならった漢字を使って文を作る。
- ・テストなどでまちがえた漢字を練習する。
- ・部首や画数を調べてみる。

○意味調べをする

- ・教科書を読んでわからない言葉の意味を調べ、ノートに書く。
- ・その言葉を使って、文を作ってみる。

○ししやをする

- ・教科書の文をノートに書きうつす。
- 「、」や「。」やだんらく・かぎかっこに気をつけて書きます。

○日記を書く

- ・日づけ（○月△日）を書きます。
- ・できごとや気持ちを書きます。
- ・習った漢字を使いましょう。

○読書をする

- ・いろいろな本を読みます。

家族のあたたかい助言や励ましの言葉でやる気がアツクします！！



【算数】

○ふく習をする

- ・学校で学習した問題をもう一度やってみます。（ノートを見て答え合わせをします）

○計算をする

- ・ドリルやプリントをつかって計算練習をします。

湧別の子どもを伸ばす

家庭学習の手引き



～自ら学び考え、進んで伝え合う子どもを育てるために～

4年生用

前期課程の学習は、将来児童が社会人として自立するための基礎となる大切なものです。

学校で児童の学力向上に取り組んで参りますが、同時にご家庭でもしっかりとした学習習慣を身に付けられるよう、連携とご指導を頂くことにより、学習内容がより確かに習得され、活用力が伸びるものと考えています。

この度、本校児童の学力や学習の実態を踏まえ、全教職員で話し合い、「家庭学習の手引き」を作成致しました。

ぜひお子様と一緒にご覧頂き、家庭学習の手助けとしてご活用頂きますようお願い申し上げます。

2026年 4月

湧別町立ゆうべつ学園

校長 豊原 隆之

湧別町立ゆうべつ学園(前期課程)

～はじめに～

家での勉強（家庭学習）は、とても大切です。それは、学校で勉強したことをしっかりと身につけるために、何回もくりかえし練習することが必要だからです。時間をきちんと決めて、毎日、じっくりと家でのべんきょう（家庭学習）に取り組みましょう。

■ 学習のきまり

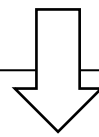
- 決まった時こくになったら机に向かいましょう。
- つくえの上には学習用具だけ置きましょう。
- 字はていねいに正しく書きましょう。
- 「ながら勉強」をしないようにしましょう。
- 今、学習しているところの漢字と計算は、少しずつでも毎日復習するようにしましょう。
- わかっていることばかりするのではなく、苦手なところにもどンドンちょうせんするようにしましょう。
- ドリルや問題集は、必ず答え合わせをして、まちがえたところをやり直し、くりかえし練習しましょう。
- わからなかったところは、おうちの人や先生に聞くなどして、かならず確かめましょう。
- おわったら、おうちの人に見てもらおうようにしましょう。

■ 学習の時間

- 曜日ごとに学習を始める時こくをきめましょう。
 - ※できるだけ夕食前にするようにしましょう。
 - ※見たいテレビや習い事のこととも考えて決めましょう。
- 1・2年生は、宿題が中心となり、学年が上がるにつれて、自主学習（自学）にちょうせんしていきましょう。
- 1日どのくらい学習するか、次のページの表を参考にして決めましょう。

☆まず、「学年×10分+10分」
から始めましょう！！

※『+10分』は、家で読書をする時の目安です。

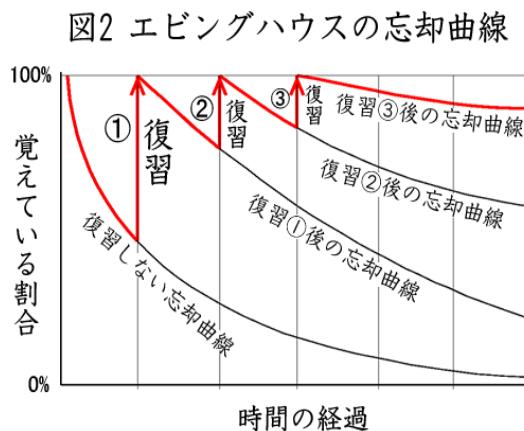
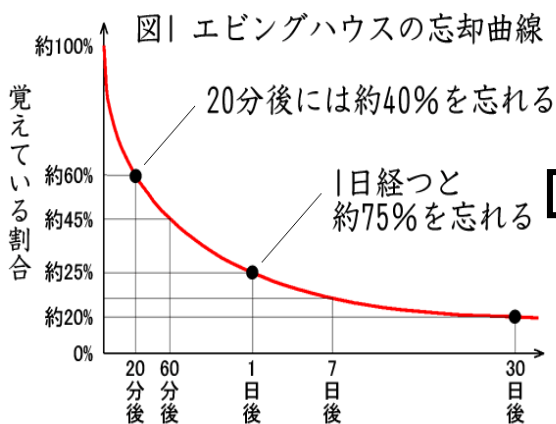


学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6
目標時間	20分以上	30分以上	40分以上	50分以上	60分以上	70分以上

わたしの学習時間は

_____ 分以上
_____ 時 _____ 分から始めます

○保護者のみなさんへ



エビングハウスの研究成果「忘却曲線」という図から、驚くべきことが分かります。それは、授業で100%学んだことも、20分経過すると約40%忘れてしまうということです。さらに1日経つと約75%を忘れてしまうことが明らかとなっています。つまり、家庭学習を行わないと、学力がどんどん低下していくということです。

しかし、家庭学習で復習を何度も繰り返すと、この忘却曲線が図2のように変化します。例え忘れてしまったとしても、100%に戻りやすくなっていきます。学力定着のために、学校でも宿題直しを行ったり、学んだ力を生かす場を設定したりしていきます。保護者の皆様にもお家で子供たちの様子を見て、家庭学習をするよう声をかけて取り組むようにしていただけたら嬉しいです。

家庭学習のつぼ！

学習時間のめやす

50分以上

- ① 毎日宿題をふくめて4年生は50分以上学習をする。
- ② 時間を決めて、集中して勉強する。
- ③ テレビを見ながら勉強はしない。
- ④ 自分でまるつけをし、まちがいをすぐ直す。
- ⑤ 学習が終わったら、次の日の時間割を調べ、鉛筆を削るなど持ち物の準備をする。

〈学習の流れ〉

1

授業をしっかり受けよう

～毎日、自分の考えを伝えたい、友達の考えをしっかりと聞きたいしよう～

2

宿題をしよう

～分からないところは、お家の人や先生に教えてもらいましょう～

3

自主学習に挑戦しよう

～早く終わった人は、右のような学習を試してみよう～

4

間違えた問題に再挑戦しよう

～前の日に間違えた問題や、宿題で間違えた問題を、もう一度考えてみよう～

【国語】

○教科書を読む

- ・今学習しているところを読む。
- ・これから学習するところを読む。
- ・わからない漢字にふりがなをつける。

○漢字の練習をする

- ・ノートにおくりがなをつけて練習する。
- ・いろいろな熟語にして練習する。
- ・ならった漢字を使って文を作る。
- ・テストなどでまちがえた漢字を練習する。
- ・部首や画数を調べてみる。

○意味調べをする

- ・教科書を読んでわからない言葉の意味を調べ、ノートに書く。
- ・その言葉を使って、文を作ってみる。

○ししやをする

- ・教科書の文をノートに書きうつす。
「、」や「。」やだんらく・かぎかっこに気をつけて書きます。

○日記を書く

- ・日づけ（○月△日）を書きます。
- ・できごとや気持ちを書きます。
- ・習った漢字を使いましょう。

○読書をする

- ・いろいろな本を読みます。

【算数】

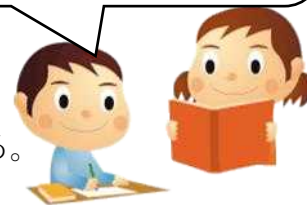
○ふく習をする

- ・学校で学習した問題をもう一度やってみます。
（ノートを見て答え合わせをします）

○計算をする

- ・ドリルやプリントをつかって計算練習をします。

家族のあたたかい助言や励ましの言葉でやる気がアツクします！！



湧別の子どもを伸ばす

家庭学習の手引き



～自ら学び考え、進んで伝え合う子どもを育てるために～

5年生用

前期課程の学習は、将来児童が社会人として自立するための基礎となる大切なものです。

学校で児童の学力向上に取り組んで参りますが、同時にご家庭でもしっかりとした学習習慣を身に付けられるよう、連携とご指導を頂くことにより、学習内容がより確かに習得され、活用力が伸びるものと考えています。

この度、本校児童の学力や学習の実態を踏まえ、全教職員で話し合い、「家庭学習の手引き」を作成致しました。

ぜひお子様と一緒にご覧頂き、家庭学習の手助けとしてご活用頂きますようお願い申し上げます。

2026年 4月

湧別町立ゆうべつ学園

校長 豊原 隆之

湧別町立ゆうべつ学園(前期課程)

～はじめに～

家での勉強（家庭学習）は、とても大切です。それは、学校で勉強したことをしっかりと身につけるために、何回もくりかえし練習することが必要だからです。時間をきちんと決めて、毎日、じっくりと家でのべんきょう（家庭学習）に取り組みましょう。

■ 学習のきまり

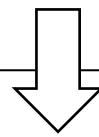
- 決まった時こくになったら机に向かいましょう。
- つくえの上には学習用具だけ置きましょう。
- 字はていねいに正しく書きましょう。
- 「ながら勉強」をしないようにしましょう。
- 今、学習しているところの漢字と計算は、少しずつでも毎日復習するようにしましょう。
- わかっていることばかりするのではなく、苦手なところにもどどんちょうせんするようにしましょう。
- ドリルや問題集は、必ず答え合わせをして、まちがえたところをやり直し、くりかえし練習しましょう。
- わからなかったところは、おうちの人や先生に聞くなどして、かならず確かめましょう。
- おわったら、おうちの人に見てもらうようにしましょう。

■ 学習の時間

- 曜日ごとに学習を始める時こくをきめましょう。
 - ※できるだけ夕食前にするようにしましょう。
 - ※見たいテレビや習い事のこととも考えて決めましょう。
- 1・2年生は、宿題が中心となり、学年が上がるにつれて、自主学習(自学)にちょうせんしていきましょう。
- 1日どのくらい学習するか、次のページの表を参考にして決めましょう。

☆まず、「学年×10分+10分」
から始めましょう！！

※『+10分』は、家で読書をする時の目安です。

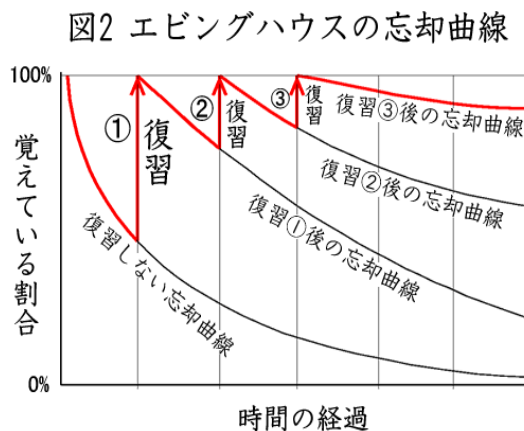
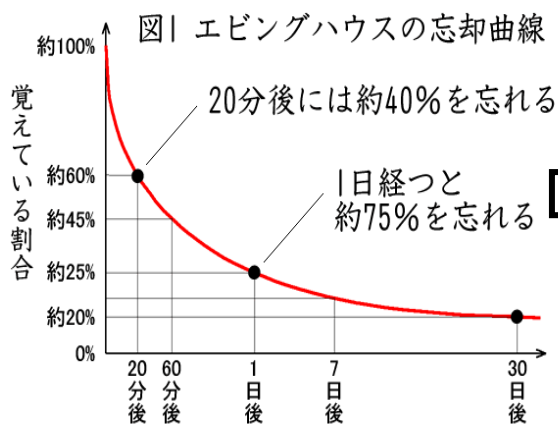


学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6
目標時間	20分以上	30分以上	40分以上	50分以上	60分以上	70分以上

わたしの学習時間は

_____ 分以上
_____ 時 _____ 分から始めます

○保護者のみなさんへ



エビングハウスの研究成果「忘却曲線」という図から、驚くべきことが分かります。それは、授業で100%学んだことも、20分経過すると約40%忘れてしまうということです。さらに1日経つと約75%を忘れてしまうことが明らかとなっています。つまり、家庭学習を行わないと、学力がどんどん低下していくということです。

しかし、家庭学習で復習を何度も繰り返すと、この忘却曲線が図2のように変化します。例え忘れてしまったとしても、100%に戻りやすくなっていきます。学力定着のために、学校でも宿題直しを行ったり、学んだ力を生かす場を設定したりしていきます。保護者の皆様にもお家で子供たちの様子を見て、家庭学習をするよう声をかけて取り組むようにしていただけたら嬉しいです。

家庭学習のつぼ！

学習時間のめやす

60分以上

- ① 集中して学習しましょう。
- ② 毎日がんばって60分以上学習しましょう。
- ③ 自主的な学習にも進んで取り組みましょう。

家庭学習をやる前に…。

- ④ テレビやゲームのスイッチは消しましたか。
- ⑤ 勉強する場所は、きれいですか。
- ⑥ 正しいしせいになっていますか。

〈学習の流れ〉

1

予習をしよう

～次の日の授業で進める範囲の教科書を読んでみよう～

2

授業をしっかり受けよう

～毎日、自分の考えを伝えたり、友達の考えをしっかり聴いたりしよう～

3

宿題や自主学習に挑戦しよう

～分からないところはお家の人や先生に教えてもらいましょう。また、右のような自主学習に1つは挑戦しよう～

4

間違えた問題に再挑戦しよう

～前の日に間違えた問題や、宿題で間違えた問題を、もう一度考えてみよう～

【国語】

家族のあたたかい助言や励ましの言葉でやる気がアツクします！！



○教科書を読む

- ・今学習しているところを3回読む。

○漢字の練習をする

- ・漢字を使った、じゆく語を調べて書きます。
- ・習った漢字を使って短文をつくり、ノートに書きます。
- ・部首や画数を調べて、ノートに書きます。

○意味調べをする

- ・語句を写します。
- ・辞典で意味を調べ、例文を写します。
- ・調べた語句を使って短文をつくり、ノートに書きます。

○視写をする

- ・教科書の文を速くていねいにノートに写します
「、」や「。」やだんらく・かぎかっこに気をつけて書きます。

○日記を書く

- ・題や月日を書きます。
- ・できごとや気持ちを工夫して書きます。
- ・習った漢字や語句を使って書きます。
- ・会話の「 」や段落に気をつけて書きます。

○読書をする

- ・いろいろな本を読みます。

【算数】

○復習をする

学校で学習した問題を、もう一度ノートにやってみます。算数のノートを見て、答え合わせをします。まちがえたときは、もう一度します。

○計算の練習

まちがえた問題は、確実に直します。

○予習をする

- ① 次に学習するところを読み、解いてみます。
- ② わからなかったところをチェックしておきます。

湧別の子どもを伸ばす

家庭学習の手引き



～自ら学び考え、進んで伝え合う子どもを育てるために～

6年生用

前期課程の学習は、将来児童が社会人として自立するための基礎となる大切なものです。

学校で児童の学力向上に取り組んで参りますが、同時にご家庭でもしっかりとした学習習慣を身に付けられるよう、連携とご指導を頂くことにより、学習内容がより確かに習得され、活用力が伸びるものと考えています。

この度、本校児童の学力や学習の実態を踏まえ、全教職員で話し合い、「家庭学習の手引き」を作成致しました。

ぜひお子様と一緒にご覧頂き、家庭学習の手助けとしてご活用頂きますようお願い申し上げます。

2026年 4月

湧別町立ゆうべつ学園

校長 豊原 隆之

湧別町立ゆうべつ学園(前期課程)

～はじめに～

家での勉強（家庭学習）は、とても大切です。それは、学校で勉強したことをしっかりと身につけるために、何回もくりかえし練習することが必要だからです。時間をきちんと決めて、毎日、じっくりと家でのべんきょう（家庭学習）に取り組みましょう。

■ 学習のきまり

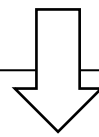
- 決まった時こくになったら机に向かいましょう。
- つくえの上には学習用具だけ置きましょう。
- 字はていねいに正しく書きましょう。
- 「ながら勉強」をしないようにしましょう。
- 今、学習しているところの漢字と計算は、少しずつでも毎日復習するようにしましょう。
- わかっていることばかりするのではなく、苦手なところにもどンドンちょうせんするようにしましょう。
- ドリルや問題集は、必ず答え合わせをして、まちがえたところをやり直し、くりかえし練習しましょう。
- わからなかったところは、おうちの人や先生に聞くなどして、かならず確かめましょう。
- おわったら、おうちの人に見てもらおうようにしましょう。

■ 学習の時間

- 曜日ごとに学習を始める時こくをきめましょう。
 - ※できるだけ夕食前にするようにしましょう。
 - ※見たいテレビや習い事のこととも考えて決めましょう。
- 1・2年生は、宿題が中心となり、学年が上がるにつれて、自主学習（自学）にちょうせんしていきましょう。
- 1日どのくらい学習するか、次のページの表を参考にして決めましょう。

☆まず、「学年×10分+10分」 から始めましょう！！

※『+10分』は、家で読書をする時の目安です。

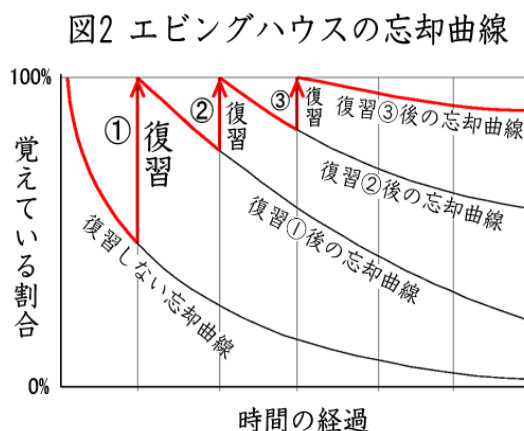
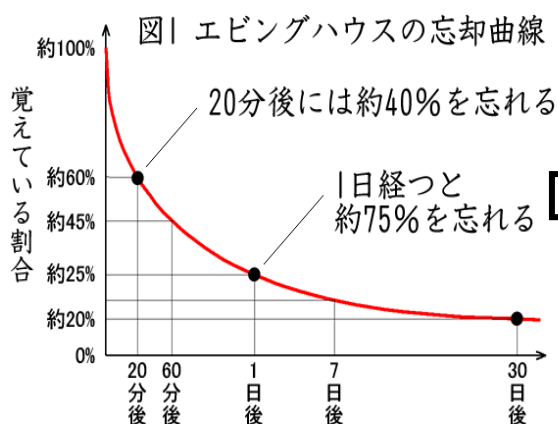


学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6
目標時間	20分以上	30分以上	40分以上	50分以上	60分以上	70分以上

わたしの学習時間は

_____ 分以上
_____ 時 _____ 分から始めます

○保護者のみなさんへ



エビングハウスの研究成果「忘却曲線」という図から、驚くべきことが分かります。それは、授業で100%学んだことも、20分経過すると約40%忘れてしまうということです。さらに1日経つと約75%を忘れてしまうことが明らかとなっています。つまり、家庭学習を行わないと、学力がどんどん低下していくということです。

しかし、家庭学習で復習を何度も繰り返すと、この忘却曲線が図2のように変化します。例え忘れてしまったとしても、100%に戻りやすくなっていきます。学力定着のために、学校でも宿題直しを行ったり、学んだ力を生かす場を設定したりしていきます。保護者の皆様にもお家で子供たちの様子を見て、家庭学習をするよう声をかけて取り組むようにしていただけたら嬉しいです。

家庭学習のつぼ！

学習時間のめやす

70分以上

- ① 集中して学習しましょう。
- ② 毎日がんばって70分以上学習しましょう。
- ③ 自主的な学習にも進んで取り組みましょう。

家庭学習をやる前に…。

- ④ テレビやゲームのスイッチは消しましたか。
- ⑤ 勉強する場所は、きれいですか。
- ⑥ 正しいしせいになっていますか。

〈学習の流れ〉

1

予習をしよう

～次の日の授業で進める範囲の教科書を読んでみよう～

2

授業をしっかり受けよう

～毎日、自分の考えを伝えたり、友達の考えをしっかり聴いたりしよう～

3

宿題や自主学習に挑戦しよう

～分からないところはお家の人や先生に教えてもらいましょう。また、右のような自主学習に1つは挑戦しよう～

4

間違えた問題に再挑戦しよう

～前の日に間違えた問題や、宿題で間違えた問題を、もう一度考えてみよう～

【国語】

家族のあたたかい助言や励ましの言葉でやる気がアツクします！！



○教科書を読む

- ・今学習しているところを3回読む。

○漢字の練習をする

- ・漢字を使った、じゆく語を調べて書きます。
- ・習った漢字を使って短文をつくり、ノートに書きます。
- ・部首や画数を調べて、ノートに書きます。

○意味調べをする

- ・語句を写します。
- ・辞典で意味を調べ、例文を写します。
- ・調べた語句を使って短文をつくり、ノートに書きます。

○視写をする

- ・教科書の文を速くていねいにノートに写します
- 「、」や「。」やだんらく・かぎかっこに気をつけて書きます。

○日記を書く

- ・題や月日を書きます。
- ・できごとや気持ちを工夫して書きます。
- ・習った漢字や語句を使って書きます。
- ・会話の「 」や段落に気をつけて書きます。

○読書をする

- ・いろいろな本を読みます。

【算数】

○復習をする

学校で学習した問題を、もう一度ノートにやってみます。算数のノートを見て、答え合わせをします。まちがえたときは、もう一度します。

○計算の練習

まちがえた問題は、確実に直します。

○予習をする

- ① 次に学習するところを読み、解いてみます。
- ② わからなかったところをチェックしておきます。

湧別の子どもを伸ばす 家庭学習の手引き



～自ら学び考え、進んで伝え合う子どもを育てるために～

「自分にあった学習方法を見つけよう！」

家庭学習はリラックスしながら学習を進めることができる点が最大のメリットです。一方、ゲームなどの誘惑が多いため集中が続かないということもあります。メリハリをつけながら、いかに集中が保てるかという点が鍵となります。

皆さんのこれからの人生の可能性が、学習をすることで大きく広がってきます。特に、後期課程の学習の先には、進路選択という大きな目標があります。人はそれぞれに、個性があります。だからこそ、後期課程で9教科の学習をすることにより、自分の持っているいろいろな強みを知ることが大切なのです。後期課程を卒業するときに自分にあった道を見つけるために勉強をします。学習すべき時にしっかり学習し、自分を知り、自分の道を見つけてください。

最後に、後期課程での学習方法には、いろいろなやり方がありますが、これが一番いい方法だというものはありません。人それぞれ違うので、本書を参考にしながら、自分に合った家庭学習の方法を見つけてください。

2026年 4月

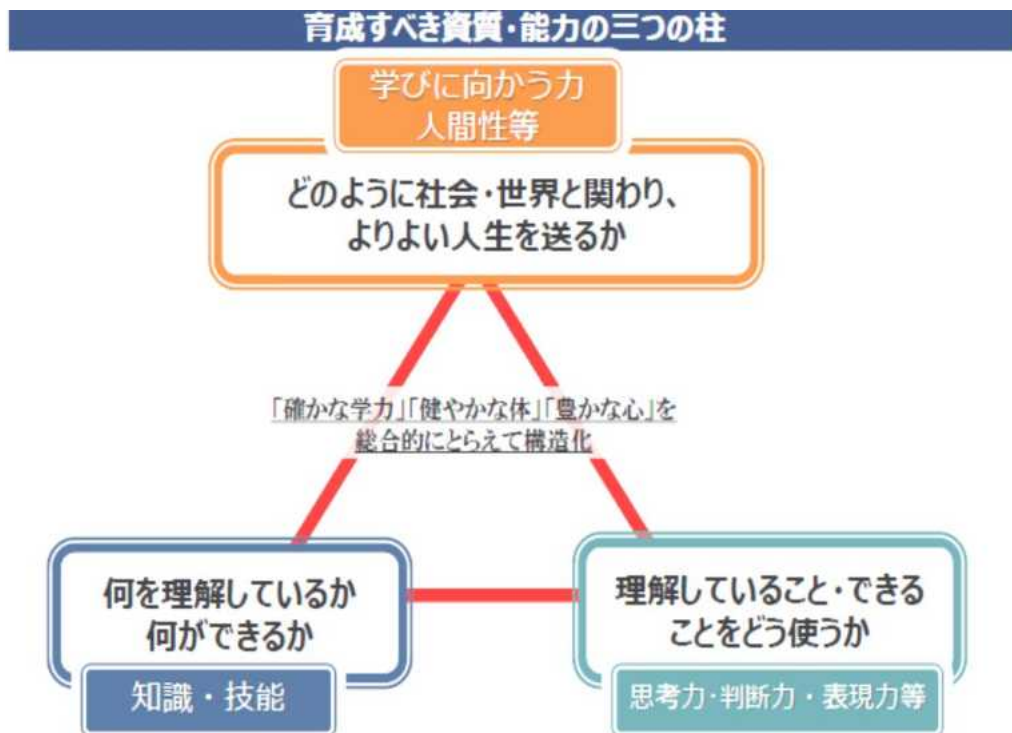
湧別町立ゆうべつ学園
校長 豊原隆之

年

番 名前

はじめに～今、求められていること～

今、皆さんに“求められている力”は社会の変化とともに変わってきています。これからの社会を創り出していく皆さんが、社会や世界に向き合い関わり合い、自分の人生を切り拓いていくために求められる資質・能力を知っておきましょう。



知識・技能 「何を知っているか、何ができるか」

○各教科等に関する個別の基礎的・基本的な知識や技能の習得だけではなく、既存の知識と関連付けたり組み合わせたりすることで育まれる、社会の様々な場面で生きて働く**知識・技能**

思考力・判断力・表現力等 「理解していること・できることをどう使うか」

○問題を発見し、その解決に必要な情報を収集・蓄積するとともに、自分の持ちうる知能・技能をフル活用しながら問題を解決へ導くための**思考**

○必要な情報を取捨選択し、問題解決への方向性を定め、結論を決定するための**判断力**

○自分の意思・意見をどんな相手・状況であっても伝えるための**表現力**

学びに向き合う力・人間性 「どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか」

○受動的にただ言われたことを学ぶのではなく、主体的に学習に取り組む態度も含めた**学ぶ力**

○グローバル化によって、より多様化する世界を尊重し、様々な人々と互いの良さを引き出しながら**共同する力**、持続可能な社会づくりに**貢献する力**、リーダーシップやチームワーク、豊かな感性や他者への思いやりの心などを持ち合わせた**人間性**

1. 学習の決まり

- 学習する時間帯やタイミングを決めましょう。
- 机の上には学習に関係するものだけを置きましょう。
(スマホが目に入るところにあるだけでも集中力は落ちるそうです)
- スマホやテレビ、Youtube などを見ながら学習する「ながら勉強」をしないようにしましょう。
- 今、学習している授業の中で暗記すべき問題は、少しずつでも必ず復習しましょう。
- わかっていることばかり学習するのではなく、苦手なところにもどんどん挑戦するようにしましょう。
- ドリルや問題集は、必ず答え合わせをして、間違えたところをやり直し、わかるまで繰り返し練習しましょう。
- 分からなかったところは、お家の人や先生、理解できている友達に聞くなどして、必ず理解して進めましょう。

2. 学習の時間

☆まず、「学年×10分+10分」
から始めましょう！！

※『+10分』は、家で読書をする時の目安です。

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年
目標時間	20分以上	30分以上	40分以上	50分以上	60分以上	70分以上	80分以上	90分以上	100分以上

私の学習時間は

_____ 分以上

_____ 時 _____ 分から始めます

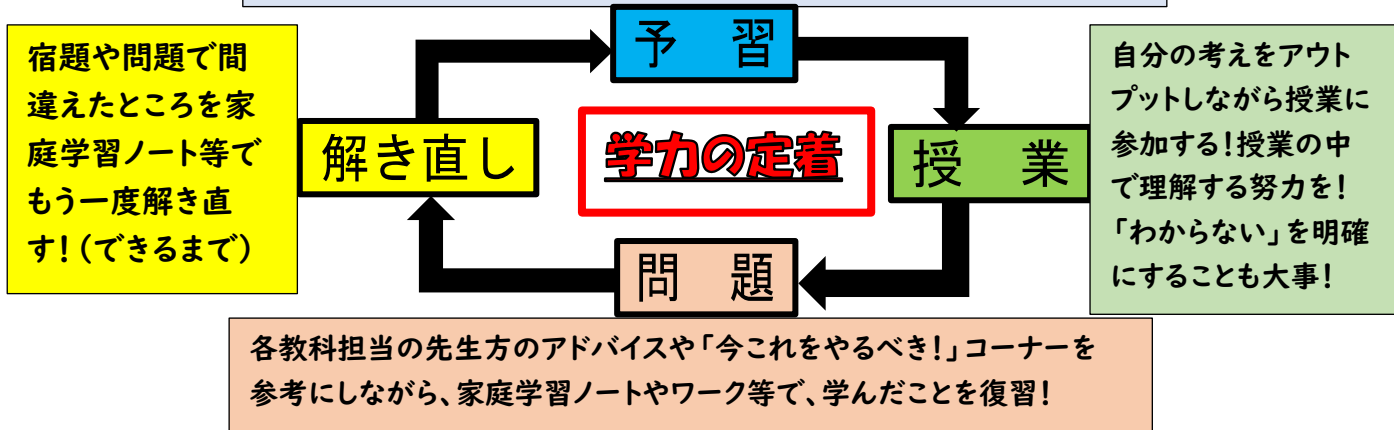
※曜日ごとに学習を始める時刻を決めましょう。(部活がない日は0分、休日は0分など)

※見たいテレビや部活動の時間のことも考えて決めましょう。

3. 学習の流れ

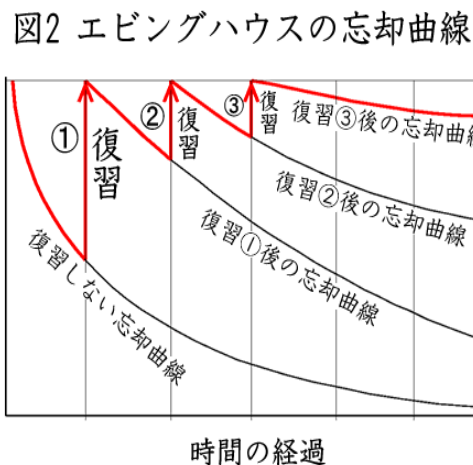
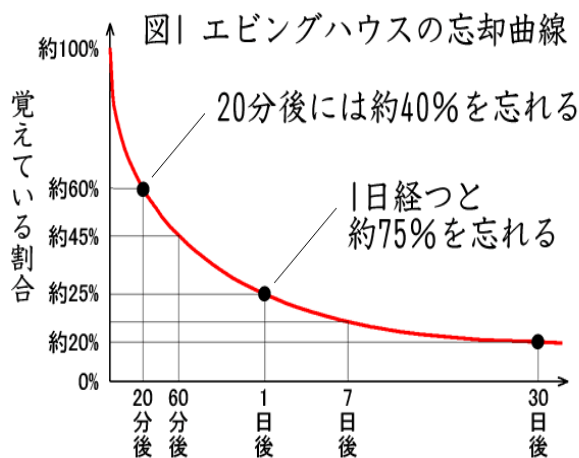
自分の学び方の確立

次の日の授業で進める範囲の教科書を一度読むだけでも、定着具合が変化します。さらに取り組める人は、教科書の問題に挑戦!



4. 学習の内容

そもそも家で学習する意味とは・・・



エビングハウスの研究成果「忘却曲線」という図から、驚くべきことが分かります。それは、**授業で100%学んだことも、20分経過すると約40%忘れてしまう**ということです。さらに**1日経つと約75%を忘れてしまう**ことが明らかとなっています。つまり、家庭学習を行わないと、学力がどんどん低下していくということです。

しかし、家庭学習で復習を何度も繰り返すと、この忘却曲線が図2のように変化します。例え忘れてしまったとしても、100%に戻りやすくなっていきます。

以上のデータが、家で学習することが大切であることを示しています。また、高校受験は7年生の時から始まっています。コツコツと家で学習する習慣を大切にしましょう。

各学年の家庭学習の目標

7年生	勉強習慣を確立させ、授業の復習を日常的にできるようになる。(習慣化&授業の理解度重視！)
8年生	自己の課題を分析し、解決に向けた努力を工夫して行えるようになる。(理解度の向上&自己調整！)
9年生	復習を覚えるまで、または理解するまで反復して行い、かつ各教科ごとに問題演習中心に取り組むことができるようになる。(目標達成に向けた努力の充実！)
⇒「今の自分に必要な学習を見極め、対策を講じて目標を達成させることができる！」	

★各教科のアドバイス★～参考にして自分に合う学習スタイルを見つけよう！～

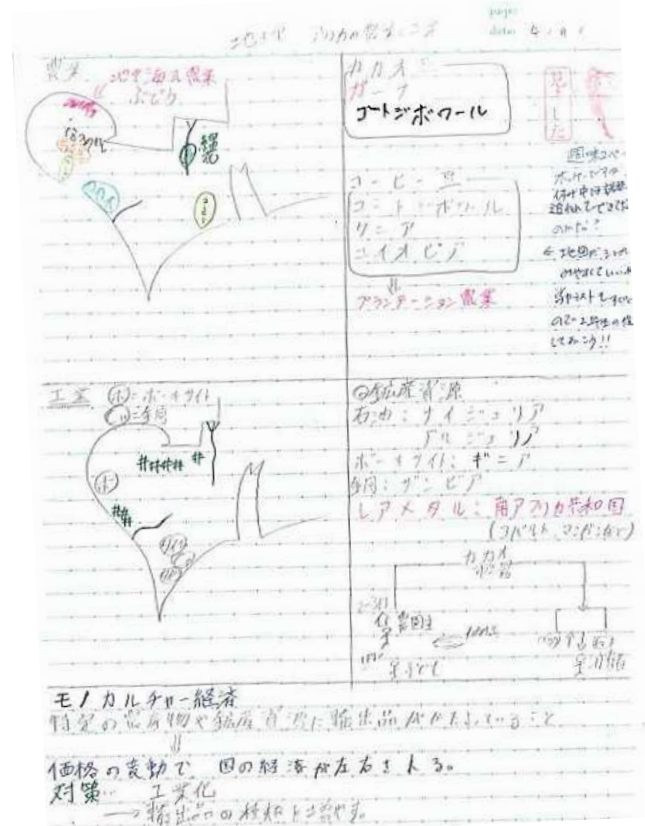
国語	<p>【基礎編】</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業で学習した新出漢字や語句、文法の習得を家庭学習で行う。(単元テスト対策として、コツコツ取り組む) 各単元の終わりにワークの基本問題に取り組み、定着度を確認する。(やっておくべき範囲は授業内でお知らせするため、随時取り組んでおくこと。←やり残しがたまっていくと後々きつい。) 教科書で学習した文学的文章や説明的文章を読み返し、内容の理解を深める。 <p>→教科書の本文を読み返すことで、物語の面白さや疑問点が生まれます。そうした疑問点や物語の魅力をみんなで共有できたらと思っています。家庭学習で自分なりに内容や主張をまとめるとよい。</p> <p>【応用編】</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークの「深める」問題を積極的に解いてみる。(わからない問題があれば気軽に聞きに来てください。「わからない」を「わかる」に変えられるように一緒に問題に取り組みます。) 漢文や古文、文法など苦手になりやすい単元の対策プリントに取り組み、定着を図る。 習った語句や漢字を使って、短い文をノートに書き出す。(家庭学習用にノートを用意し、「毎週金曜日は、短文を作る日にする」といったように習慣化させるとより良い。) <p>※家庭学習の取り組み方でわからない人がいたら先生に相談すること！！授業の進度にあった学習を！</p>
数学	<p>【基礎編】</p> <p>基本問題をやる。(例：ワークのA問題など) <解き方が分からない場合> 分からない原因を見つけましょう。用語を理解していない、計算方法を理解していない、など様々な原因があります。その原因を自分で見つけることで分からない問題ができるようになります。数学は他の単元・前の学年の内容とのつながりが非常に強い教科なので、去年の内容を理解していないことも原因の一つです。まずは分からない原因を見つける。それを第一に取り組みしましょう。 もし自分では何をしたらいいのか分からない場合は、先生に相談しましょう！</p> <p>【応用編】</p> <p>学テの過去問に取り組む。難しい問題集を買って取り組んでみる。など</p>
社会	<p>知識の定着を目指す(どちらかという、テスト対策になります。)</p> <p>中学校の定期テストは、小学校のテストと比べて、「範囲が広いこと」「問題文が長く、やや難しくなる」ことが違います。では、以下のように学習を進めていくとよいです。基本は同じ問題でも構いませんので、たくさん問題を解きましょう。</p> <p>50点とりたい人・・・対策プリント、みなさんのもっているワークの範囲を一度だけでもよいので解きましょう。</p> <p>80点とりたい人・・・50点とりたい人のやる内容を2回やりましょう。しっかりニュースをみておきましょう。</p> <p>100点とりたい人・・・50点とりたい人のやる内容を3回やりましょう。また、教科書やノートを隅々までみておきましょう。しっかりニュースをみておきましょう。</p>
理科	<p>【基礎編】</p> <ul style="list-style-type: none"> 予習より復習を大事にしましょう。最初は教科書・ノートを見るだけでもOKです。平日にその日の復習、土日で1週間分の復習をするとよい。 <p>【応用編】</p> <ul style="list-style-type: none"> 暗記は教科書の文章で覚える。まとめノートをつくるより反復して暗記しよう。 ワークを繰り返しやって問題のパターンを知る。基礎問題も超大事です。
英語	<p>【基礎編】</p> <ul style="list-style-type: none"> 予習の段階で、新出単語や熟語(イディオム)の意味や品詞を調べて、本文の内容を事前に軽く読んでおこう。 授業中は、積極的に英語を聞いたり、話したりするようにします。英文を作ったり、英語で表現したりする時には、間違いを恐れず、意欲的にどんどん使ってみましょう。 その日に習った事柄は、ワークなどを用いてしっかり復習し、学習した文法事項をマスターしておきましょう。間違ったり、解けなかったりした問題は、再度、解き直しをして理解度をアップさせましょう。 <p>【応用編】</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタル教科書を用いて本文の英文を音声で聞き、リスニングの力を向上させたり、ワークの長文を読んだりして、内容や話の要点を把握する練習をすると、英語の力が向上します。

5. 家庭学習の参考にしよう

参考① ノートを写す (まとめる)

段階を踏んで、どんどんレベルアップできるようにしよう！

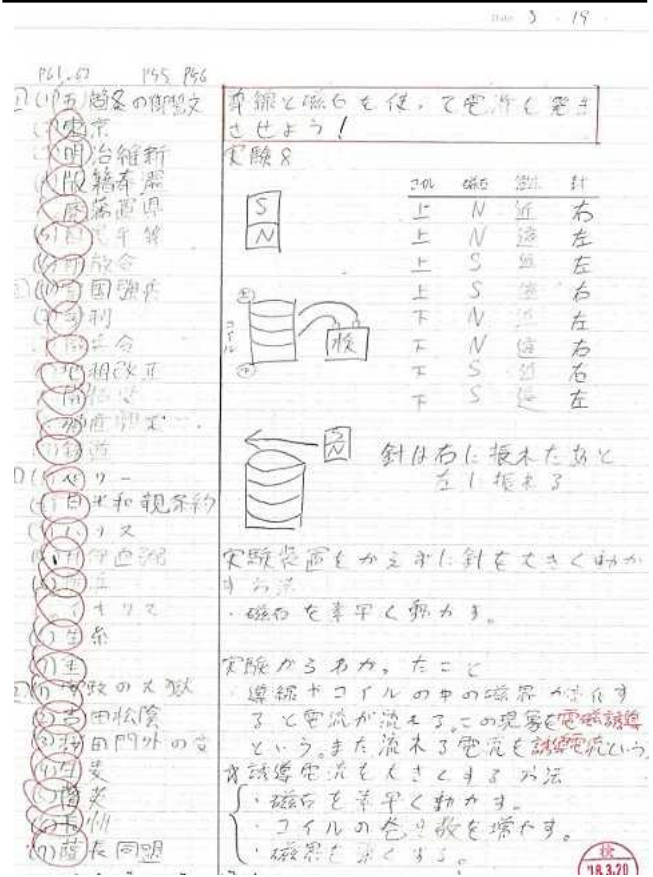
レベル	内容	参考
レベル1	授業を思い出しながらノートを写す(改めてまとめる)	①
レベル2	英単語や漢字などをひたすら練習する	②
レベル3	1回の学習で複数教科やってみる	③
レベル4	ノートでまとめた後にその範囲のワークを解いてみる	④
レベル5	まとめや練習の他に問題を解く量を増やしていく	⑤



参考② ひたすら練習！

参考③ 複数教科の取り組み

カテゴリー	単語	漢字	英単語	漢字	英単語	漢字	英単語	漢字	英単語	漢字
カレタリ	洗滌	洗滌	洗滌	洗滌	洗滌	洗滌	洗滌	洗滌	洗滌	洗滌
カイヤ	錫	錫	錫	錫	錫	錫	錫	錫	錫	錫
カコイ	細	細	細	細	細	細	細	細	細	細
カトリ	帝王	帝王	帝王	帝王	帝王	帝王	帝王	帝王	帝王	帝王
カトリス	泥水	泥水	泥水	泥水	泥水	泥水	泥水	泥水	泥水	泥水



参考④ まとめからのワーク

理科
長効電流を大きくする方法
① 磁石を素早く動かす
② コイルの巻き数を増やす
③ 磁石を強くする

④ 電流の種類
・ 直流 ~ 流れる電流の向きが一定。乾電池
DC (+ - の向きが一定)
・ 交流 ~ 向きが1秒に何度か変わる
AC

・ LEDは極性
直流 →
交流 →

クイーンズ P139

6. ① 電磁誘導
② 誘導電流
③ 逆起電力
④ 逆起電力
⑤ 交流

7. (1) 右
(2) 左
(3) (1)の向きと反対の向きになる

8. (1) 左
(2) ①

9. (1) 交流
(2) ①
(3) A
(4) B
①と同じ向きで②が

10. (1) Aを大きく振れる
(2) 交流

参考⑤ 問題の解く量を増やす

理科

① 月見	① 月見	① 月見	① 月見
② 春分	② 春分	② 春分	② 春分
③ 夏至	③ 夏至	③ 夏至	③ 夏至
④ 秋分	④ 秋分	④ 秋分	④ 秋分
⑤ 冬至	⑤ 冬至	⑤ 冬至	⑤ 冬至
⑥ 春分	⑥ 春分	⑥ 春分	⑥ 春分
⑦ 夏至	⑦ 夏至	⑦ 夏至	⑦ 夏至
⑧ 秋分	⑧ 秋分	⑧ 秋分	⑧ 秋分
⑨ 冬至	⑨ 冬至	⑨ 冬至	⑨ 冬至
⑩ 春分	⑩ 春分	⑩ 春分	⑩ 春分
⑪ 夏至	⑪ 夏至	⑪ 夏至	⑪ 夏至
⑫ 秋分	⑫ 秋分	⑫ 秋分	⑫ 秋分
⑬ 冬至	⑬ 冬至	⑬ 冬至	⑬ 冬至
⑭ 春分	⑭ 春分	⑭ 春分	⑭ 春分
⑮ 夏至	⑮ 夏至	⑮ 夏至	⑮ 夏至
⑯ 秋分	⑯ 秋分	⑯ 秋分	⑯ 秋分
⑰ 冬至	⑰ 冬至	⑰ 冬至	⑰ 冬至
⑱ 春分	⑱ 春分	⑱ 春分	⑱ 春分
⑲ 夏至	⑲ 夏至	⑲ 夏至	⑲ 夏至
⑳ 秋分	⑳ 秋分	⑳ 秋分	⑳ 秋分
㉑ 冬至	㉑ 冬至	㉑ 冬至	㉑ 冬至
㉒ 春分	㉒ 春分	㉒ 春分	㉒ 春分
㉓ 夏至	㉓ 夏至	㉓ 夏至	㉓ 夏至
㉔ 秋分	㉔ 秋分	㉔ 秋分	㉔ 秋分
㉕ 冬至	㉕ 冬至	㉕ 冬至	㉕ 冬至
㉖ 春分	㉖ 春分	㉖ 春分	㉖ 春分
㉗ 夏至	㉗ 夏至	㉗ 夏至	㉗ 夏至
㉘ 秋分	㉘ 秋分	㉘ 秋分	㉘ 秋分
㉙ 冬至	㉙ 冬至	㉙ 冬至	㉙ 冬至
㉚ 春分	㉚ 春分	㉚ 春分	㉚ 春分
㉛ 夏至	㉛ 夏至	㉛ 夏至	㉛ 夏至
㉜ 秋分	㉜ 秋分	㉜ 秋分	㉜ 秋分
㉝ 冬至	㉝ 冬至	㉝ 冬至	㉝ 冬至
㉞ 春分	㉞ 春分	㉞ 春分	㉞ 春分
㉟ 夏至	㉟ 夏至	㉟ 夏至	㉟ 夏至
㊱ 秋分	㊱ 秋分	㊱ 秋分	㊱ 秋分
㊲ 冬至	㊲ 冬至	㊲ 冬至	㊲ 冬至
㊳ 春分	㊳ 春分	㊳ 春分	㊳ 春分
㊴ 夏至	㊴ 夏至	㊴ 夏至	㊴ 夏至
㊵ 秋分	㊵ 秋分	㊵ 秋分	㊵ 秋分
㊶ 冬至	㊶ 冬至	㊶ 冬至	㊶ 冬至
㊷ 春分	㊷ 春分	㊷ 春分	㊷ 春分
㊸ 夏至	㊸ 夏至	㊸ 夏至	㊸ 夏至
㊹ 秋分	㊹ 秋分	㊹ 秋分	㊹ 秋分
㊺ 冬至	㊺ 冬至	㊺ 冬至	㊺ 冬至
㊻ 春分	㊻ 春分	㊻ 春分	㊻ 春分
㊼ 夏至	㊼ 夏至	㊼ 夏至	㊼ 夏至
㊽ 秋分	㊽ 秋分	㊽ 秋分	㊽ 秋分
㊾ 冬至	㊾ 冬至	㊾ 冬至	㊾ 冬至
㊿ 春分	㊿ 春分	㊿ 春分	㊿ 春分

歴史P.14
① 平治の乱
② 平治の乱
③ 平治の乱
④ 平治の乱
⑤ 平治の乱
⑥ 平治の乱
⑦ 平治の乱
⑧ 平治の乱
⑨ 平治の乱
⑩ 平治の乱
⑪ 平治の乱
⑫ 平治の乱
⑬ 平治の乱
⑭ 平治の乱
⑮ 平治の乱
⑯ 平治の乱
⑰ 平治の乱
⑱ 平治の乱
⑲ 平治の乱
⑳ 平治の乱
㉑ 平治の乱
㉒ 平治の乱
㉓ 平治の乱
㉔ 平治の乱
㉕ 平治の乱
㉖ 平治の乱
㉗ 平治の乱
㉘ 平治の乱
㉙ 平治の乱
㉚ 平治の乱
㉛ 平治の乱
㉜ 平治の乱
㉝ 平治の乱
㉞ 平治の乱
㉟ 平治の乱
㊱ 平治の乱
㊲ 平治の乱
㊳ 平治の乱
㊴ 平治の乱
㊵ 平治の乱
㊶ 平治の乱
㊷ 平治の乱
㊸ 平治の乱
㊹ 平治の乱
㊺ 平治の乱
㊻ 平治の乱
㊼ 平治の乱
㊽ 平治の乱
㊾ 平治の乱
㊿ 平治の乱

6. テスト後も大切

★テストの見直しポイント

Step1

○と×のレベル分け

○なら正解、×なら不正解と単純に考えてはいけません。○の中にも、理解して正解したものもあれば、当てずっぽうで○になったものもある。×も同じく全く理解できていないものもあれば、問題の読み間違いのケアレスミスもある。下の表を参考にチェックしてみよう！

○レベル		×レベル	
3	解法や内容を完全に理解した	3	全くわからない、空欄などによる不正解
2	感覚に頼った正解や、消去法等の確立に頼った正解	2	問題の読み間違いや計算ミスなどによる不正解
1	当てずっぽうで書いた正解	1	理解していたのに時間がなかったなどの不正解

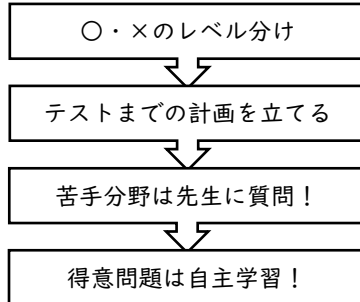
Step2

○でも直しをする

Step1 で分類した○レベル2・1、×レベル3・2の見直しを実行します。通常は不正解問題だけ行いますが、ここでは理解出来ないままの単元や内容が増えていきます。何が出来て・何が出来ていないかを知ることが大切です！

Step3

次回の対策を立てる



学力 UP!

保護者のみなさまへ

- ・ **自分で計画的に学習したり、自己調整したり**できるように家族のあたたかい助言や励ましの言葉などの支援をお願いします。
- ・ 自ら机に向かう姿勢を育て、集中して取り組む習慣を身に付けられるよう、支援をお願いします。